

令和4年度第1回保幼小接続担当者研修(動画配信)実施について

1 目的

各小学校及び幼児教育施設において、幼児期の育ちと学びを小学校教育へと円滑に接続する取組の中心的な役割を担う者（又は担うことを今後期待される者）に対し、今後の更なる取組の充実に向けた資質向上を図る。

2 対象者

- 保幼小接続コーディネーター
（各小学校において、幼児教育との連携・接続等に向けて中心的な役割を担う者）
- 園内リーダー
（各幼児教育施設において、小学校との連携・接続等に向けて中心的な役割を担う者）
- ※ 市町村幼児教育アドバイザー等が、アドバイザーとしての資質向上のため受講してもよい。
- ※ 校内や園内等の研修等において、職員の共通理解を図るために活用してもよい。

3 内容

講義 1（動画配信） （60分）	幼児教育の理解と保幼小の接続の質の向上に向けて ～『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を手掛かりにした子どもの育ちの見取りを教育・保育に生かすために～ 講師：茨城大学教育学部教授 神永 直美 氏
講義 2（動画配信） （60分）	保幼小接続の推進に向けて（県の事業を踏まえて） ※初担当者向けの基礎的な内容が中心 講師：就学前教育・家庭教育推進室担当者

4 配信期間・受講方法について

期間 令和4年6月20日（月）～7月1日（金）

資料・動画 URL 通知方法

県内の保育者・小学校教員の方へは資料・動画の閲覧方法をこの文書に記載し、別途通知しております。

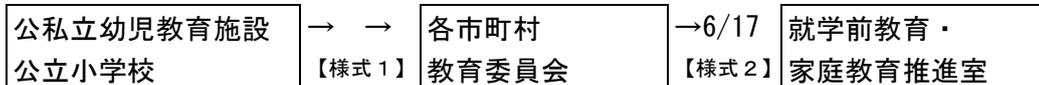
受講方法

配信期間中に資料・動画 URL 等をダウンロードし、各自受講する。

受講後、アンケートを提出する。（アンケート URL は講義資料と一緒に掲載）

5 受講希望者の報告について

- (1) 各公私立幼児教育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）、各市町村立小学校
- ・各市町村教育委員会の定めた締切日までに様式1により所在の市町村教育委員会へ報告する。
 - ・各市町村教育委員会は、令和4年6月17日（金）までに様式2により就学前教育・家庭教育推進室へ報告する。



- (2) 県立特別支援学校・茨城大学附属学校園・私立小学校
- ・様式1を令和4年6月17日（金）までに就学前教育・家庭教育推進室宛直接メールにて送付する。（メールアドレス：shugaku@pref.ibaraki.lg.jp）

【今後の研修予定】 （第2回～第4回の詳細や申込については後日通知。）

- ・研修予定は変更になることがあります。変更連絡等については、通知するとともに、「家庭教育応援ナビ」の「幼児教育関係研修情報」にも掲載します。
- ・研修計画の中に相互参観を位置づけました。各小学校、幼児教育施設での実施にご協力をお願いいたします。

回	日程及び会場等	内容
	<p>【各小学校・幼児教育施設で相互参観を実施】 保育者（園内リーダー）は小学校の授業参観、 小学校教員（保幼小接続コーディネーター）は幼児教育施設の保育参観 期間：令和4年4月～10月末 ※早めの実施が望ましいが、学校や園の事情により年度末までに実施でもよい。</p> <p>保育者→近隣の小学校へ、 小学校教員→近隣の幼児教育施設へ、直接申し日程を相談</p> <p>（その他、参観及び体験型研修に参加する場合も含む）</p>	<p>参観の目的：小学校教育（幼児教育）の相互理解 視点（例）：子どもの姿、遊びや授業のねらい、先生のかかわり、環境等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観を受ける側は、案内者をおき、説明や参観者の質問を受けるなどするとよい。 ・事後に感想を伝えるなど、意見交換するとよい。 ・実施レポートの提出は求めない。 ・保育体験や授業体験も効果的である。 ・<u>実施できない場合は、映像資料や動画を活用しての校内・園内研修等、代替の取組を工夫する。</u>
第2回	8月18日（木） （オンライン） YouTube 生配信またはZoomを予定（人数により変更有）	午前：講義「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて」（文部科学省調査官による講演） 午後：（小学校教員対象）講義、協議
第3回 I～II期は 同一の内容	I期 9月6日（火） （県南生涯学習センター） II期 9月9日（金） （県教育研修センター）	「特別支援教育の視点から考える保幼小の連携・接続」 （事前講義動画配信、特別支援教育関連事業説明、協議）
第4回 I～III期は 同一の内容	I期 10月27日（木） （県南生涯学習センター） II期 11月11日（金） （県西生涯学習センター） III期 11月21日（月） （県教育研修センター）	「接続カリキュラムの実践・改善に向けて」 （事前講義動画配信、実践発表、協議） ※グループ協議（写真等の持ち寄り） 保育者…「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、遊びや生活の中で育ちが見られた場面 小学校教員…幼児期の経験や育ちを生かし、主体的に自己発揮する姿が見られた場面